

土木学会特別委員会 「安寧の公共学懇談会」 の議論に参加して

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 名誉会長
パシフィックコンサルタンツ株式会社 代表取締役会長

長谷川 伸一 | HASEGAWA Shinichi

私は、土木学会、大石久和会長の特別委員会「安寧の公共学懇談会」に、建設コンサルタント代表の委員として参画し、土木が我が国の歴史、文化をはじめとする、国民の生活のすべてのインフラ基盤づくりに関わり、今後もこの使命をさらに重要な形で継承していくために、今、改めて土木とは何か、また土木はどうあるべきか、また土木の公共性と公益性について議論する機会を得た。この懇談会は、筑波大学・石田東生名誉教授を座長として、大石会長を始め、京都大学の木村亮、藤井聡両教授、東京女子大学の栗田恵子教授、神戸大学の小池敦司教授、中央大学の山田正教授と建設業界から茅野鹿島建設副社長等、土木、建設、公共経済界の錚々たるメンバーで構成され、様々な視点から「土木の本質と啓蒙」について熱い、一方で様々な知見を踏まえた興味深い議論が、一年間にわたって交わされた。

この懇談会の趣旨は、「土木人は土木を狭い専門領域で捉えてタコツボ化するのではなく、公共経済、法学、また今後の問題として土地所有や気候変動なども視点に加え、社会経済活動のインフラ基盤を支える土木の意義を担う使命を再認識し、幅広い世代や分野に対する土木教育を含めて、土木の活動領域を考え直して、我が国の文化・風土と誇りにしていかなければならない」と言うことであろうと、私は理解している。

この懇談会の議論を踏まえて、土木学会誌6月号で

は、各界で活躍されている方々に、産業、社会、経済、教育、歴史、未来など、様々な視点から土木を改めて問う企画として、「問い続ける土木—土木の領域を再考し、為すべきを成すために—」と題した特集が組まれた。私も「未来から問う土木」と題して寄稿しているが、土木の領域や深さについて改めて考える機会として、また土木に関わっていない人にも一読戴き、「土木教養がないことが我国の危機に繋がる」ことを若い、また一般の人の認識となる議論になれば幸いである。

懇談会のもう一つの成果が、「歴史の謎はインフラで解ける 教養としての土木学」(大石久和・藤井聡編著、産経新聞社出版)の発刊である。本書には土木が担うインフラ基盤の上に、私たちの安心・安全で快適な生活が成り立っており、土木の持つ使命、役割、情熱のエネルギーが歴史の中で文化、社会、経済を動かしてきた事実として、歴史トピックスを紐解き、解りやすく解説された、これまでにない読みやすい書籍である。本書も土木に関わる人はもちろん、一般の方の土木学入門、土木教養学の一冊としてお勧めしたい。この書籍を読むことで、土木に関わる人すべてが今、土木の意義を改めて考え、歴史上の土木の貢献を知ること、未来への土木に関っていく誇りをより強くして、土木の本質を知り、伝承していく契機になると考えている。我が社では、土木全般の教養書として社員教育に活用し、新たな世代の土木人をより多く輩出していきたいと考えている。

『歴史の謎はインフラで解ける 教養としての土木学』

大石久和・藤井聡編著、産経新聞出版社、四六判並製 / 216ページ、1,620円(税込)

■ 収録トピックス (一部)

- ローマ文明を築いたのは「水道」だった
- なぜ京都は「千年の都」になったのか
- 信長の天下統一には土木の力が働いていた
- 幕府を倒したのは物流システムだった
- アメリカの歴史を変えたニューディール政策

■ 土木学会会員向け特別価格販売

会員特価：1,460円(税込)

期間限定特価：1,300円(税込)(20冊以上ご注文の方に限り、2018年7月末までの期間限定)
(定価：1,620円(税込))

※会員価格での購入申込みは下記サイトまで。

<http://committees.jsce.or.jp/chair/node/17>

新刊のご案内(ノンフィクション) 産経新聞出版 〒100-8077 東京都千代田区大手町1-7-2 <http://www.sankei-books.co.jp>

歴史の謎は インフラで解ける 教養としての土木学

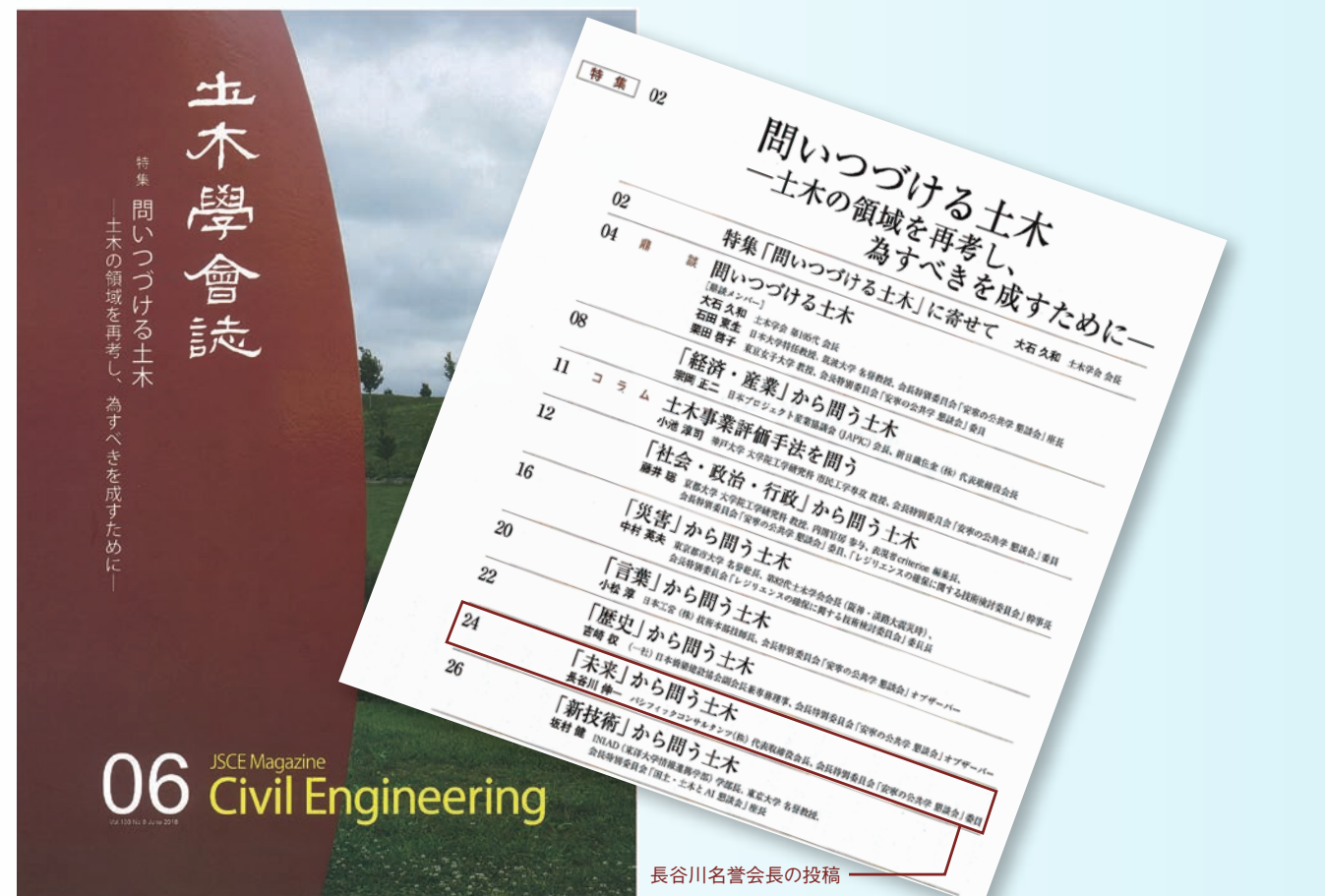
大石久和・藤井聡 編著

歴史、文化、社会、経済を動かす
壮大なエネルギーはなぜ生まれたのか

●ローマ文明を築いたのは「水道」だった
●なぜ京都は「千年の都」になったのか
●信長の天下統一には土木の力が働いていた
●幕府を倒したのは物流システムだった
●アメリカの歴史を変えたニューディール政策

大石久和 1945年兵庫県生まれ、公益社団法人土木学会第105代会長。1970年、京都大学大学院工学研究科修士課程修了。同年、建設省入省。建設省道路局長、国土交通省技監を歴任。2016年より一般社団法人日本建設技術協会会長。また、京都大学大学院経営管理研究科非常勤教授、一般財団法人国土技術研究センター国土政策研究所長を兼任。著書：「国土」。

藤井聡 1968年奈良県生まれ、京都大学大学院数理工学系工学専攻、京都大学大学院工学研究科修士課程修了。東京工業大学教授、イノベーション工学研究科客員研究員を経て、現職。また、2011年より安倍内閣・内閣府常任顧問・減価ニューディール担当。専門は国土計画、土木計画、経済政策等の公共政策に関する実践的人文社会科学。03年に土木学会論文賞、05年に日本行動計量学会特和賞、07年に文部科学大学賞、08年に日本社会心理学会奨励賞文芸および日本学術振興会賞、18年に土木学会研究業績賞などを受賞。



長谷川名誉会長の投稿